



2023年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年12月14日

上場会社名 株式会社Macbee Planet 上場取引所 東
 コード番号 7095 URL https://macbee-planet.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 千葉知裕
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 川上昂士 (TEL) 03(3406)8858
 四半期報告書提出予定日 2022年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画配信予定)
 (百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第2四半期の連結業績(2022年5月1日~2022年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第2四半期	8,875	20.0	921	44.4	927	45.6	619	52.1
2022年4月期第2四半期	7,394	—	638	—	636	—	407	—

(注) 包括利益 2023年4月期第2四半期 827百万円(104.7%) 2022年4月期第2四半期 404百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第2四半期	190.95	183.73
2022年4月期第2四半期	126.84	120.84

(注) 2021年4月期期末より連結財務諸表を作成しているため、2022年4月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第2四半期	7,047	3,616	50.3
2022年4月期	5,880	2,788	46.1

(参考) 自己資本 2023年4月期第2四半期 3,545百万円 2022年4月期 2,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年4月期	—	0.00			
2023年4月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年4月期の連結業績予想(2022年5月1日~2023年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	17.8	1,600	29.3	1,600	29.7	1,000	29.3	310.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年4月期2Q	3,247,900株	2022年4月期	3,240,400株
2023年4月期2Q	83株	2022年4月期	83株
2023年4月期2Q	3,242,697株	2022年4月期2Q	3,209,893株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。また、当社ウェブサイトにて同日に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け依然として厳しい状況にあるものの、各種政策の効果や経済活動の段階的な再開に伴って、持ち直しの動きが続くことが期待されております。

そのような状況の中、当社グループが事業展開を行う国内インターネット関連市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化等により、インターネット利用人口は2020年の1年間で13歳～59歳の各年齢階層において9割を超えて利用される状況となり、人口普及率は82.9%と高い水準を維持しております。また、FacebookやTwitter、LINEに代表されるソーシャルネットワークワーキングサービスの普及率は個人で78.7%（前年比4.9%増）と上昇を続けております。消費者がインターネット及びスマートフォンを利用する時間の拡大とともに、インターネットやスマートフォンに関連したサービスは更なる市場拡大が期待されております。

（注）数値は総務省「令和3年通信利用動向調査」より引用しております。

こうした環境のもと、当社グループは、新規取引先の開拓やプロダクトの開発に力を入れ、事業拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高8,875,087千円（前年同期比20.0%増）、営業利益921,923千円（前年同期比44.4%増）、経常利益927,223千円（前年同期比45.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益619,193千円（前年同期比52.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（アナリティクスコンサルティング事業）

当セグメントにおきましては、既存案件の拡大や新規案件の受注が堅調に推移したことにより、売上高は8,154,650千円（前年同期比15.9%増）、セグメント利益は862,454千円（前年同期比18.6%増）となりました。

（マーケティングテクノロジー事業）

当セグメントにおきましては、既存案件の拡大や新規案件の受注が堅調に推移したこと及び株式会社Alphaの完全子会社化により、売上高は720,437千円（前年同期比101.6%増）、セグメント利益は512,369千円（前年同期比260.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,166,039千円増加し、7,047,010千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が432,599千円、売掛金が289,356千円及び投資有価証券が603,775千円増加したことによるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して337,672千円増加し、3,430,554千円となりました。その主な要因は、買掛金が208,454千円及び短期借入金が200,000千円増加した一方で、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が118,248千円減少したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して828,366千円増加し、3,616,455千円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を619,193千円計上したこと及びその他有価証券評価差額金が215,381千円増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、2,530,338千円となり、前連結会計年度末残高に比べ432,599千円増加いたしました。なお、当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、648,086千円となりました（前年同期は453,610千円の収入）。その主な内訳は、売上債権の増加額289,356千円、法人税等の支払額295,569千円があった一方で、仕入債務の増加額208,454千円、税金等調整前四半期純利益927,223千円の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、297,869千円となりました（前年同期は896,402千円の支出）。その主な内訳は、投資有価証券の取得による支出293,337千円が発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、82,382千円となりました（前年同期は757,331千円の収入）。その主な内訳は、短期借入金の純増額200,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出118,248千円があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月期の業績予想につきましては、2022年6月13日の「2022年4月期 決算短信」で公表した通期の業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,097,739	2,530,338
売掛金	1,965,415	2,254,771
その他	110,200	67,046
貸倒引当金	△53,746	△53,746
流動資産合計	4,119,608	4,798,409
固定資産		
有形固定資産	63,043	61,005
無形固定資産		
のれん	708,578	625,216
その他	52,937	44,347
無形固定資産合計	761,516	669,563
投資その他の資産		
投資有価証券	859,928	1,463,703
その他	76,875	54,328
投資その他の資産合計	936,803	1,518,031
固定資産合計	1,761,363	2,248,600
資産合計	5,880,971	7,047,010
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,444,566	1,653,021
短期借入金	300,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	198,859	182,885
未払法人税等	317,663	332,467
賞与引当金	2,235	11,044
その他	283,881	232,494
流動負債合計	2,547,206	2,911,913
固定負債		
長期借入金	545,676	443,402
繰延税金負債	-	75,239
固定負債合計	545,676	518,641
負債合計	3,092,882	3,430,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	403,894	404,214
資本剰余金	395,094	395,414
利益剰余金	1,858,633	2,477,826
自己株式	△456	△456
株主資本合計	2,657,165	3,277,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,965	268,347
その他の包括利益累計額合計	52,965	268,347
新株予約権	234	224
非支配株主持分	77,723	70,884
純資産合計	2,788,089	3,616,455
負債純資産合計	5,880,971	7,047,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
売上高	7,394,552	8,875,087
売上原価	6,154,722	7,065,268
売上総利益	1,239,829	1,809,818
販売費及び一般管理費	601,386	887,895
営業利益	638,442	921,923
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	-	7,647
その他	35	1,224
営業外収益合計	45	8,880
営業外費用		
支払利息	1,668	3,580
営業外費用合計	1,668	3,580
経常利益	636,819	927,223
特別損失		
事務所移転費用	5,438	-
特別損失合計	5,438	-
税金等調整前四半期純利益	631,380	927,223
法人税等	226,927	314,868
四半期純利益	404,453	612,354
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,685	△6,839
親会社株主に帰属する四半期純利益	407,139	619,193

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
四半期純利益	404,453	612,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	215,381
その他の包括利益合計	—	215,381
四半期包括利益	404,453	827,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	407,139	834,575
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,685	△6,839

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	631,380	927,223
減価償却費	10,478	16,359
のれん償却額	41,681	83,362
事務所移転費用	5,438	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,612	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,989	8,809
受取利息及び受取配当金	△10	△7,656
支払利息	1,668	3,580
売上債権の増減額 (△は増加)	60,420	△289,356
仕入債務の増減額 (△は減少)	△102,873	208,454
その他	△9,310	△11,196
小計	649,474	939,580
利息及び配当金の受取額	10	7,656
利息の支払額	△1,668	△3,580
法人税等の支払額	△194,206	△295,569
営業活動によるキャッシュ・フロー	453,610	648,086
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,715	△5,731
無形固定資産の取得による支出	△17,164	-
投資有価証券の取得による支出	-	△293,337
敷金及び保証金の差入による支出	△14,541	△240
敷金及び保証金の回収による収入	-	1,440
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△845,981	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△896,402	△297,869
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	200,000
長期借入れによる収入	800,000	-
長期借入金の返済による支出	△53,244	△118,248
株式の発行による収入	10,575	630
財務活動によるキャッシュ・フロー	757,331	82,382
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	314,538	432,599
現金及び現金同等物の期首残高	1,923,574	2,097,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,238,112	2,530,338

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	アナリティクス コンサルティング 事業	マーケティング テクノロジー事 業	計		
売上高					
成果報酬	6,955,936	323,171	7,279,107	—	7,279,107
固定報酬	81,276	34,167	115,444	—	115,444
顧客との契約から生じる収益	7,037,213	357,339	7,394,552	—	7,394,552
外部顧客への売上高	7,037,213	357,339	7,394,552	—	7,394,552
計	7,037,213	357,339	7,394,552	—	7,394,552
セグメント利益	727,038	142,072	869,110	△230,667	638,442

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「マーケティングテクノロジー事業」セグメントにおいて、株式会社Alphaの株式を取得したことにより、当第2四半期連結累計期間にのれんが833,622千円発生しております。

なお、のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分が反映された後の金額であります。この暫定的な会計処理の確定に伴うのれんの金額の修正は生じておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	アナリティクス コンサルティング 事業	マーケティング テクノロジー事 業	計		
売上高					
成果報酬	8,059,939	683,110	8,743,050	-	8,743,050
固定報酬	94,710	37,326	132,037	-	132,037
顧客との契約から生じる収益	8,154,650	720,437	8,875,087	-	8,875,087
外部顧客への売上高	8,154,650	720,437	8,875,087	-	8,875,087
計	8,154,650	720,437	8,875,087	-	8,875,087
セグメント利益	862,454	512,369	1,374,823	△452,900	921,923

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、2022年11月15日開催の取締役会において、当社が保有する株式会社ネットマーケティング株式を売却することを決議し、株式会社withとの間で2022年11月30日に有価証券売却契約を締結いたしました。これに伴い、2023年4月期第3四半期連結会計期間に投資有価証券売却益（特別利益）を計上する予定であります。

1. 投資有価証券売却の理由

投資先の主要株主からの要請によるものであります。

2. 投資有価証券売却の内容

(1) 投資有価証券売却益の発生時期

2023年4月期第3四半期連結会計期間

(2) 業績への影響

本件売却に伴う2023年4月期親会社株主に帰属する当期純利益への影響額は2億円を見込んでおります。